

## 母子の健康月間 リソースのご案内 (Maternal and Child Health Month)

### < 出版物 >

各資料名をクリックすると、電子ファイルをご覧いただけます。  
印刷物の販売、お取り扱いは終了となっておりますので、電子ファイルをご活用ください。

#### ▶ ロータリー重点分野 ビジュアルガイドライン

ロータリー重点分野のアイコンを使用する際にこのガイドラインをご参照ください。  
※ブランドリソースセンターへのアクセスは My Rotary へのログインが必要となります。



現在、重点分野のロゴは同じくブランドリソースセンター内、  
ロゴ→ロータリーのロゴからご入手いただけます。  
「母子の健康」の指定色はバイオレットとなっております。  
詳細はビジュアルガイドラインの 11、15 ページをご参照ください。

#### 💡 当分野でのグローバル補助金プロジェクトをお考えの方へ

- ▶ 重点分野の基本方針 (2020年10月版)
- ▶ 「母子の健康」グローバル補助金 授与のガイドライン (2018年7月版)

### < RI ページ >

#### ▶ 母子の健康

ロータリーは、すべての母子が栄養失調、適切な医療や衛生設備、教育の欠如などの予防可能な原因で命を落とすことがあってはならないと考えます。6つの重点分野の1つ、「母子の健康」について、ロータリーの活動ページです。

#### ▶ ロータリーショーケース

ロータリーショーケースでは、ロータリークラブや地区が実施した様々な活動や計画中のプロジェクトの情報を掲載・閲覧することができます。ぜひ世界中のロータリアンによる母子の健康に関するプロジェクトをご覧ください。プロジェクトの掲載は My Rotary へのログインが必要となります。

< [ウェブ特集記事](#) >

➤ [移動手段を提供して母子をサポート](#)

ウガンダ政府は3月、コロナウイルスの感染者数が12件に満たない頃から、厳しいロックダウンや学校閉鎖を実施して迅速に対応しましたが、失業や移動制限のせいで妊娠中の女性が病院に行けないといった問題が生じました。カンパラにあるルバガ・ロータリークラブはこの報告を聞き、救急車を1台寄贈しました。

(2021年3月、Rotary ニュース・特集記事ページより)

➤ [ポリオ根絶 次はパキスタン](#)

2019年12月、[パキスタン](#)のNIDs（全国予防接種日）に2日間参加した、「チームポリオジャパン」の13人が、現地のロータリアンから「2020年の発症を0にする」という意気込みを聞いたばかりでした。野生株ポリオ発症数が三桁になっている理由、現地での活動および、現状について、岡山南ロータリークラブの大和 豊子様が寄稿された記事をご紹介します。

(2020年2月、ロータリーボイスより)

➤ [安全な出産でホンジュラスの母子を守る](#)

相模原橋本ロータリークラブが現地のダンリロータリークラブ、岡山県に本部を置く非営利法人AMDA 社会開発機構（AMDA-MINDS）と協力して、ロータリー財団のグローバル補助金110,000ドル（約1,200万円）を活用した、新生児と妊産婦死亡率の改善を目的とする「El Paraiso Safe Childbirth Project（エル・パラインでの安全な出産プロジェクト）」を実施しました。

(2019年2月、ロータリーボイスより)

➤ [新生児と母親を守る](#)

ニュージーランド、ワイマテのロータリークラブは、画期的な出産についての教育プログラムを開発しました。これが全国規模のモデルとなり、モンゴルで何百人もの新生児とその母親たちの命が救われました。

(2017年3月、RI ページより)

■ Rotary ニュース・特集記事ページは» [こちら](#)

■ Rotary Voice ページ（日本語）は» [こちら](#)

< [映像資料](#) >

▶ [母子の健康を支えるロータリー](#)

母親と子どもが疾病を予防し、自らを守ることができるようにロータリーが提供する教育、予防接種、助産師用キット、移動クリニック、母親への研修について紹介しています。

(2018年4月) [日本語、1分35秒]

▶ [世界でよいことをしよう：母子の命を救う](#)

ハイチは妊婦と乳児の死亡率が西半球で最も高く、多くの女性が病院から遠く離れた土地に住んでいます。ロータリー財団の提供した医療機器を搭載したジープを使用し、ボランティア助産師が移動参加型クリニックを開設しました。

(2015年4月) [日本語、3分22秒]

▶ [明るい未来への第一歩](#)

上記の映像のショートバージョンです。2011年、ロータリー財団への寄付により、ハイチの遠隔地に住む妊婦への医療を提供する移動産科クリニックが実施されました。2015年、22の村を訪れ、7,922回の産前・産後医療を提供しました。これには23件の緊急輸送も含まれます。

(2016年) [日本語、1分49秒]

▶ [ウクライナでよいことをしよう](#)

西洋諸国では日常的に子どもの心臓手術が行われるようになっていたのに対し、1990年代までウクライナでは多くの子どもが心臓疾患のため命を落としていました。ロータリーは、現地の医療技術向上と医療器材不足解消に尽力しました。

(2015年4月) [日本語、3分15秒]

■ [Vimeo RI ページ（日本語）は](#) [こちら](#)

～ RI コンテンツのご利用にあたり ～

■ [国際ロータリーのウェブサイトの利用規約は](#) [こちら](#)